

いそはま日記 2024(1)

いよいよ本格的な冬が訪れました。海の水温は約12℃まで下がっています。強風で海が荒れる日も多くなり、その翌日、せんなん里海公園の砂浜には様々なものが打ち上がっていました。写真1がその時の様子です。

黒っぽく見えているのは、主にヨレモクモドキなどの海藻が打ち上がったものです（写真2）。強い波の力で引きちぎられたようです。

また、このような時にはその他にも様々なものが打ち上がります。この時見つけたものは、「いそはま日記 Part2」でご紹介しますが、ここでは印象的だった魚の打ち上げを紹介します。その魚とは写真3のサザナミフグです。水や空気を吸い込んでお腹が大きく膨れている状態で、残念ながら死んでいました。サザナミフグは、南方系の魚でサンゴ礁などにくらしています。夏～秋に卵や子供が黒潮に乗って日本沿岸に流されて来ることがありますが、ある程度成長はしても冬の低水温には耐えきれず、今回のように死んでまうケースが多いと思われます。



写真1 海が荒れた日の翌日のときめきビーチ



写真2 打ち上げられたヨレモクモドキモドキ



写真3 打ち上げられたサザナミフグ

ときめきビーチ



せんなん里海公園
Sennan Satoumi Park, OSAKA

管理事務所